

はじめに  
**歴史をモノにするために**

序章 **先史時代** 歴史時代の幕開け

013

「人間は考える葦である」／猿からヒトへ／「宗教とは何か1」「神話的体系」／農耕の開始／「経済とは何か1」「経済の発達とその影響」／四大文明の成立と専制君主の登場

第1章 **古代ヨーロッパ** 多神教と一神教の織りなす世界

027

第1幕  
**古代オリエント**

— 沼地と砂漠の文明 —

029

日の昇るところ／肥沃な三日月地帯／人間に罰を与える神々／現世への執着／各地に影響を与えるインド・ヨーロッパ系民族／ナイルの恵み／人間と暮らす神々／来世への願い／ヒラミッドのつくりかた／「王の眠りを妨げる者、死の翼触れるべし」／「戦争と平和のつくる時間感覚」／海の民とアラム人、フェニキア人／「経済とは何か2

「商人の役割」／ヘブライ人―出エジプト／ヘブライ人―バビロン捕囚／ユダヤ教の成立―一神教革命／嚙猛なアッシリア帝国／「帝国とは何か」／寛容なヘルシア帝国

第2幕  
**古代ギリシア**―明るい海洋の文明―

058

ギリシアの地理的条件／歴史への情熱―シユリーマン／よみがえる伝説―ミケーネとトロヤ／歴史への情熱―エヴァンス／よみがえる伝説―クレタ／ポリス社会の成立／神々の交響／自由を守る戦い／自由と秩序／「政治とは何か1」「意思の決定」／学問の芽生え／「宗教とは何か2」「宗教と哲学（科学）の違い」／世界から宇宙へ／美の完成／乱れた齒車／ポリス社会の衰え／憂国の士デモステネスの叫び

第3幕  
**ヘレニズム**

— 英雄のつくり出した世界 —

090

英雄の条件／アレクサンドロス登場／歴史の新たなページ／果てしない征服欲／英雄のつくり出し

第4幕

古代ローマ

―すべての古代史はローマに注ぐ―

た世界／「統合と分裂、普遍と特殊、一様と多様」  
／自然科学の成立／英雄ときあと

102

第5幕

キリスト教の成立―罪と罰

成立前夜／受胎と伝導／受難と復活／ユダヤ教か  
らキリスト教へのストーリー／「多神教と一神教

136

第2章

南アジア(インド) ヒンドゥー教と仏教の世界

のつくる思考」／キリスト教とローマ帝国／「宗  
教とは何か3 「一神教には「ルール」がある」

151

第6幕

古代インド―即多、多即一

インダス文明とアリア人の侵入／神々の讃歌／  
輪廻転生の概念／梵我一如／バラモンへの反逆1  
―仏教の成立／バラモンへの反逆2―仏教の広ま  
り／ヒンドゥー教の神々／マヌ法典／なぜカース  
ト制度は残ったか／インドを流れる「深い河」

153

第3章

東アジア(中国) 儒教・仏教・道教の世界

第7幕

古代中国―皇帝の支配する天下

地名を持たない国家／中国で求められる秩序／血  
縁による秩序／血縁による秩序の限界／孔子の登  
場／孔子の思想／孟子と荀子、そして法家の登場  
／世界に開花する思想／動乱の背景／商鞅の変法

173

171

／「法を為すの弊、一にここに至るか」／「奇貨、おくべし」／中国の統治のかたち／馬と鹿／鴻門の会／若を奈何せん／垓下の戦い／劉邦というリーダー像／法が徳か

## 第8幕

### 東アジアのなかの中国

—中華と周辺

中国史のかたち／老荘思想から道教へ／改変される仏教／東アジアのなかの中国／「大陸と島国のつくる空間認識」／支配される中華世界1「モンゴル帝国」／支配される中華世界2「清帝国」

203

## 第10幕

### イスラーム世界の拡大

—コーランか剣か、貢納か

スンナ派とシーア派／東西へ膨張するイスラーム世界／拡大の論理／イスラーム化の進行／イスラーム文化1—固有の学問と外来の学問／イスラーム文化2—セマー（旋舞）／「宗教とは何か4「実践的行為」」

236

## 第11幕

### イスラーム世界の発展

—二つの寛容な帝国

モンゴルの来襲／3大陸にまたがる帝国1—メフメト／3大陸にまたがる帝国2—スレイマン／オスマン帝国の統治／ヒンドゥー教徒を支配する帝国／ムガル帝国の統治／タージ・マハルをめぐる物語

247

## 第4章 西アジア（中東地域）イスラームの世界

## 第9幕

### イスラーム世界の成立

—ムハンマドの登場

イスラーム成立前夜／啓示／伝道と逝去／イスラームの本質「タウヒード」／他の一神教への視線—啓典の民／六信五行／イスラームの女性

221

第5章 中世ヨーロッパキリスト教の世界

257

第14幕 中世西欧世界の変化

—新たな時代の兆し—

298

第12幕

中世西欧世界の成立

—孤立するヨーロッパ

259

中世を見るにあたって／恐怖の幕開け／苦境に立つローマ教皇／教皇の努力、いら立ち／カールの戴冠／「ホメットなくしてシャルルマーニュなし」／「包囲された西ヨーロッパ」／神聖ローマ帝国の成立／封建社会——「国家」はなかった／天に日は二つあつてはならない／カノッサの屈辱／東欧の情勢

第13幕

十字軍——牙を剥くヨーロッパ

279

十字軍の導火線／教皇の見ていたもの／十字軍、はじまる／聖地奪回の成功／西欧のオールスター／迷走する十字軍／ベクトルはいくつもあつた／商業ルネサンス／すべてはキリスト教のもとに／教会建築——ロマネスクとゴシック／学問——「哲学は神学の婢」／文化の逆輸入

もたらされたもの／封建制度の崩壊／教皇権と皇帝権の弱体化／王権の強大化と「国家」の誕生／百年戦争1——フランスの分裂／百年戦争2——聖女の登場／百年戦争3——聖女の悲劇／百年戦争4——聖女の栄光／異文化理解の難しさ／「神なき人間の惨めさ」

本書で述べた歴史の見方

314

おわりに——歴史とは何か——

318